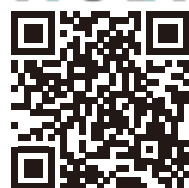


続!グレート
直彌



もうひとつの OPEN SESAME

TiGET



参加のお申し込みは
QRから。定員140名。
定員になり次第締め
切らせていただきます。
当日は、入場時にご自
身のスマートフォンで
チケットページを表示
してください。

世界遺産登録推進事業「文化による第三の開国を考える」

2026
11/8 日曜日

会場 楽々園 御書院 受講無料

東京学芸大学名誉教授、静岡市歴史博物館館長 彦根井伊家17代直豪の長女

13:00開場・13:30開演

大石学氏 × 井伊裕子氏

主催：NPO法人ひこね文化デザインフォーラム 協力：彦根商工会議所、世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム

後援：彦根市、彦根文化連盟、彦根景観フォーラム、彦根ロータリークラブ、ワイズメンズクラブ西日本区

お問い合わせ NPO法人ひこね文化デザインフォーラム tel. 090-3283-9508 (戸所)

お申し込み
詳細は裏面

世界遺産登録推進事業「文化による第三の開国を考える」

経済のための文化から、文化のための経済へ!!

彦根城が世界遺産として評価される根拠は、260年にわたる平和と文化の成熟にある。井伊直弼公は茶の湯・能・学問・禅に深く心酔し、この地に「一期一会」という精神哲学を残した。相手を誠心誠意もてなし、別れた後も一人その余韻を生き続ける——独座観念、余情残心。それは、GDPや成長率だけでは測ることができない豊かさであり、「文化を経済の上位に置く」という現代の問いに対する、江戸時代からの応答でもある。

世界は今、成長と効率を軸にした経済構造の限界に直面している。環境破壊、格差の拡大、文化の均質化。これらはすべて、文化を手段に貶めてきた結果ではないのか。

「第三の開国」とは、武力でも経済でもなく、文化と思想によって世界へ扉を開くことである。彦根城の世界遺産登録が持つ意味も、単なる文化財保護を超え、「文化を基盤に社会と経済を再構成する」という一つの宣言として読むことができる。それは同時に、SDGs目標11.4「文化遺産の保護・保全」が目指す世界——歴史の重みと自然の尊さを知る街が、人々の心を結びつけ、次の世代へ絶え間なく希望を紡ぎ続ける世界——その最も深い表現でもある。

本シンポジウムは、彦根という場所から、文化統治の規範としての彦根の価値を問い直し、地方ならではの豊かさを基軸とした経済構造転換の意義を探る。2028年への助走として、この問いを市民とともに立てる場としたい。

会場: 楽々園御書院 (定員140名) 滋賀県彦根市金亀町3-41



彦根藩第4代当主・井伊直興公が1677年(延宝5年)から造営した下屋敷(当時は槻御殿と呼ばれた)。第11代当主・井伊直中公の隠居に際して大規模な増改築が行われた。御書院の内部は「御上段」「上之御間」「御次之間」「御小座敷」などで構成されており、上段の間などは金地紙の襖や黒漆塗りの框が使われるなど、格式高い造りになっている(非公開)。

御書院利用の注意(必ずご一読ください)

- 駐車場は公共、または民間の駐車場をご利用ください。
- 当日は「ひこねシティマラソン」開催のため、午前中は交通規制が敷かれ、中堀から中へは車は進入できません。
- 自転車でお越しの方は、楽々園までお越しいただき、スタッフの指示に従ってください。
- 楽々園内にお手洗いはありません。最寄りの公衆トイレをご利用ください。
- お手洗いは、玄宮園となりの桜場駐車場黒門から城内に入ったところにある公衆トイレをご利用ください。ただし、黒門内は有料ゾーンになりますので、スタッフが「入城許可証」をお渡しします。
- 楽々園建物内での飲食は禁じられています。縁側での飲み物については許可を得ていますが、無糖のもの(お茶、水など)で、ペットボトルなどキャップがきちんとできるものをご持参ください。

11月8日(日) Schedule

- 13時00分 開場
- 13時10分 笛の演奏(BGMとして)
- 13時25分 開会 趣旨説明
- 13時30分 大石学氏講演
近江・彦根から「文化による第三の開国を考える」
- 14時30分 休憩(15分)
- 14時45分 井伊裕子氏講演
「井伊直弼公がお茶に求めたところ」
- 15時15分 トークセッション 大石学氏×井伊裕子氏
Facilitator 戸所岩雄
近江・彦根の地から「文化による開国宣言・そしてその先を」

講師プロフィール



大石学(おおしまなぶ)氏

日本の日本近世史学者であり、東京学芸大学名誉教授、静岡市歴史博物館館長、時代考証学会会長。NHK大河ドラマをはじめ、テレビ、映画、マンガ、小説など、歴史作品の時代考証を請け負い、テレビの歴史解説番組にも数多く出演。数多くの映画や大河ドラマの時代考証を手掛けている。著書に『吉宗と享保の改革』(東京堂出版)『首都江戸の誕生 大江戸はいかにして造られたのか』(角川学芸出版)など多数。



井伊裕子(いいひろこ)氏

彦根井伊家17代直豪の長女。名古屋で育つ。井伊直弼の曾孫の孫にあたる。京都女子大学大学院文学研究科修了。日本史専攻。直弼公の茶の湯について研究を続ける。著書に『井伊家の教え』(朝日新聞出版)がある。

お申し込み

参加のお申し込みはQRから。
定員になり次第締め切らせていただきます。
当日は、入場時にご自身のスマートフォンでチケットページを表示してください。



申し込み用紙 FAX.0749-27-6880

氏名		住所	☐ 彦根市 ☐ 滋賀県 ☐ 県外() 県)
電話		email	

※ご提供いただいた個人情報は、以下の目的のみに利用いたします。

- ①本セミナーの参加受付、運営、および必要ご連絡のためお問い合わせへの対応のため
- ②第三者提供・委託法令に基づく場合を除き、ご提供いただいた個人情報を本人の同意なく第三者に提供することはありません。

HIKONE
cdf

NPO法人ひこね文化デザインフォーラム
〒522-0064 滋賀県彦根市本町3丁目2-12
TEL. 0749-23-3383 URL. <https://hcdcf.jp>

QR (TiGET) または、FAXでお申し込みください。定員140名になりましたら締め切らせていただきます。